



# \\ 森を守り、木を育てる //

## とよ ね しん りん くみ あい 豊根森林組合

りん ぎょう  
林業

所在地 豊根村下黒川字蕨平3 TEL 0536-85-1014



### おく み かわ りん ぎょう ささ 奥三河の林業を支える

山に杉などの苗木を植え、住宅用などの木材として利用できる大きさに育て販売する林業。今ではドローンや高性能の重機を導入することで作業の負担を減らし、働きやすい環境を整備することで、林業そのもののイメージが変わりつつあります。



### 森を切るだけじゃない

## しん りん くみ あい し ごと 森林組合のお仕事

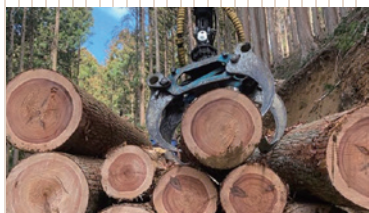
### もり そだ しん りん せい び し ぎょう 森を育てる「森林整備事業」

森林を育てるには長い年月、手をかけ続ける必要があります。木の苗を植えたり、枝を切ったりするだけでなく、苗木を食べてしまうシカなどを追い払ったり、災害が発生した時は復旧作業を行ったりします。



### もり しゅう かく りん さん し ぎょう 森から収穫する「林産事業」

大切に育てた木が木材として利用できるまで成長すると、商品として市場へ出荷します。山中に作業用の道を作り、切り出した木をトラックに積み、市場まで運びます。



### き い が こう し ぎょう 木を活かす「加工事業」

大きい丸太は市場に運ばれますが、細い丸太は森林組合の加工場で板材や角材にされ、地元の人向けに販売されます。貴重な資源である丸太を無駄にはしません。



とよね木サイクルセンター

# 豊かな森林を未来へつなげる林業のサイクル

住宅や施設などの建築物に使うことのできる木を育てるまでには、約60年もの年月がかかります。また、木は苗木を植えれば勝手に育つというものではありません。人の手で木が健康的に育つ環境を整え、長い時間をかけて森を守るのです。木を切ることだけが、森林組合の仕事ではありません。



## 46～60年目 **主伐**

市場へ出荷するため、植林した杉を全て伐採し、決められた長さに切り分けます。

## 1年目 **植林**

伐採後の土地を整備し、新たに苗木を植えます。



## 16～35年目 **間伐**

光が入りやすく木が育ちやすい環境に改善するため、必要のない木を切り倒します。

## 11～30年目 **枝打ち**

木材の価値を下げる「節」ができないよう、不要な枝を除去します。

## 1～5年目 **下草刈り**

植えた苗木が雑草や雑木に負けないようにするため、周りの草木を刈ります。

## CHECK!!

### 奥三河の森林の特徴

奥三河は愛知県の面積の約1/3を占めますが、その大部分は森林です。豊根村だけでも14000ヘクタール（東京ドーム約2994個分）もあり、その多くを豊根森林組合が管理しているというから驚きです！また、奥三河地方で育った杉は「三河杉」と呼ばれ、光沢のある赤味と美しい木目が特徴的です。

とよ ね しん りん くみ あい そだ わか もり も びと

# 豊根森林組合が育てる「若き森の守り人」

ばっ さい

## 伐採



もり なか ぼん ぼん

## 森の中で1本1本の木と向きあい見極める

木を切り倒し、重機を使って決められた大きさに切断して、トラックへ乗せる場所まで運ぶ仕事をしています。次の工程を考え、1本1本その木に合った切り方を計算し、思い描いた通りに切り倒せた時はやりがいを感じます。

う じ と も か り

**宇治 誠也さん**



もり せい び く まも

## 森の整備は暮らしを守る

以前は、工場や研究室にこもって仕事をしていたのですが、自然の中で働きたいと思い、林業を選びました。林業という森を整備する仕事が、自然災害などの防止につながることを多くの人に知って欲しいです。

い し ばら まさ や

**石原 雅也さん**



ふと き  
太い木も  
あつという間に  
き たお  
切り倒す



そく りょう

## 測量

げん き からだ うご

## 元気に体を動かせる 憧れの職業に就いて

高校生にの時に、林業に携わっている方を取材する機会があり、働く姿がとてもカッコよくて、憧れてこの仕事を選びました。現在は、木を切り倒す場所の地形を調査するため、山の中を歩いて測量を行なっています。時には急な斜面を登ることもありますが、もともと体を動かすことが好きなので楽しいです。携わった現場がしっかり整備されると、達成感を感じます。

さい せん たん  
最先端の  
ドローンを使って  
ちゆうさ  
調査するよ

やま なか ある そくりょう おこ とき きゅう しゅめん のぼ  
山の中を歩いて測量を行なっています。時には急な斜面を登ることもありますが、もともと体を動かすことが好きなので楽しいです。携わった現場がしっかり整備されると、達成感を感じます。

わお た ひ な

**太田 日奈さん**





森の仕組みを学ぶ「森の教室」

毎年夏休みに子どもたちを対象とした「森の教室」を開催。森の仕組みの解説をはじめ、森林を守ることが水源を守ることにつながり、人々の暮らしを支えていることなどを伝え、林業という仕事の大切さを理解してもらっています。

森を守り活かす取り組み

無駄を出さないエコロジー施設

森林組合が運営するとよね木サイクルセンターでは、余った端材を「ペレット」と呼ばれる、ストーブやボイラーなどに使用する燃料に加工。森からの大切な恵みは余すことなく全て有効に使い切ります。



組合長からみんなに MESSAGE

若い世代の新たな発想で 森を活かしていけるように

昭和40～50年ごろまで、豊根村では林業がとても盛んでしたが、人の流出や海外の木材が入ってくるなど、厳しい時代が長く続きました。しかし、5年ぐらい前から流れが変わり、産業として成り立つようになり、若者も就職してくれるようになってきました。将来的にはキャンプ場など、森を活用し人々が交流できる新しい事業などを展開していけたらと思います。

代表理事組合長 村松 久さん

